

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 0 2 号
件 名	新潟市のセーフコミュニティ等について
要 旨	<p>新潟市の職員は、政策立案は全国で一番上手です。しかし、その検証は曖昧です。</p> <p>空き家は、解体工事終了後に動物や雑草の被害を防ぐために厚手のシートを張り、また管理会社等は、隣近所に緊急連絡先を交換するような方法を構築してほしいです。</p> <p>冬期間は、道路のライン（白線）が雪に隠れて見えにくいです。不慣れな道路だと、直進、右折等のラインが判断できず怖いです。ラインのカラー化を考えてほしいです。また、歩道と車道の間境界ポール等がなく、除雪作業がきれいにできません。ガードレールが設置されていないところがいっぱいあります。除雪の基本は、最悪の事態を想定し、万が一そうであっても対応できるように、文書化し、準備することが絶対必要です。楽観的な思い込みにしがみついで、想定外の大雪に排雪作業が遅れました。1月10日、市長、区長が出席した成人式当日、市内は大雪で大渋滞でした。10日に市長が排雪作業を指示していれば、後手後手にならなかったはずです。</p> <p>都市政策部は、日々の緊張感が失われ、行政として刺激や創造性がなく、やりたいことのアピールが何もないです。あるのは、ダブルスタンダードです。</p> <p>新潟駅前広場については、2020年の全員協議会で都市政策部は、市民に丁寧に分かりやすく説明すると言いました。また、附属機関等の新潟駅万代広場等整備検討委員会の会議でも、委員から、市民に説明が必要と提案がありました。しかし、都市政策部は開催予定はないと言いました。また、2020年に広場等のパブリックコメントが実施されました。結果は予想どおり、不採択180件、採択3件のみでした。こういうものを、市民に対するストレステストといいます。初めから結果ありきのアンケートでした。完成後が心配です。</p> <p style="text-align: right;">（裏面につづく）</p>
付 託 年月日 委員会	<p>第 1 項</p> <p>令和 3 年 2 月 18 日</p> <p>第 6 項</p> <p style="font-size: 2em;">}</p> <p>環境建設常任委員会</p>
受 理	令和 3 年 2 月 2 日 第 516 号

新潟駅高架化事業（鉄道）は、メインの新潟交通の5年前の提案より大幅な減便、見直し等が公表され、危機的状況になりました。高架橋下のバス路線は、一般車も通れるように再検討してほしいです。新潟交通への、これ以上の譲歩や補助金の支出は見直すべきです。そもそも、高架橋下のバス路線は多くはありません。駅を利用する乗降客は多いです。乗降客が少ないところは一般的に、路線バスは走りません。所管課は、駅南等データ調査をいまだにやっていません。都合が悪いから、高架橋下バス路線が拡大したら、必ず縮小や廃止路線が出ます。

連節バス（2連節）も大雪でお休みでした。市民との約束は、新潟駅から青山まで5センチメートル以上降雪したら除雪作業を開始して、運休はさせないというものです。連節バスは、冬期間が一番の稼ぎどきです。残念なことに、かわいそうに、バス停も走行路線も除雪してもらえず、運行が停止されました。大雪に対して都市政策部は、全て各区に放り投げていました。バス停の除雪、バスの運行停止等何も対応できない、こんなところは早急に土木部が吸収合併すべきです。

また、高架橋下の駐輪場の料金設定もいまだに未定です。議会への提案も、都合が悪いからやる気がないです。前市長の篠田さんだったら、新潟駅－青山間は絶対に除雪作業を指示したはずです。残念です。都市政策部の職員は、前市長から辞令をもらったと思っていました。

都市政策部は、附属機関等の会議をホテルで開催し、2時間の会議で会場借り上げ料金16万9,620円を支出しました。市役所内に空き部屋がないためだそうです。他部も積極的に経済活動をして、ホテル等を利用してほしいです。金額の問題ではない、経済の活性化です。

建築部は、地域の茶の間の開設前にリフォーム代金100万円を支出します。残念ながら、5年以内に地域の茶の間が閉設したときのルールが何もありません。閉設届出用紙は何もないです。100万円は支出するけれど、閉設したことさえ聞いていなかったです。閉設した地域の茶の間が、ホームページには、1年経過してもいまだに開設中と掲載されています。そろそろマンネリ化しており、設置判断の見直しを求めます。私に意見されて初めて、警察、消防に届け出ています。法も知らないです。200件近くの地域の茶の間の安全点検や場所の確認さえできていないです。危険な施設を老人たちが笑顔で利用しています。

（次頁につづく）

よって、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 空き地には厚手のシートを張ること。
- 2 冬期間のために道路の白線ラインをカラー化すること。
- 3 新潟駅前広場は、市民説明会を開催すること。
- 4 新潟駅高架橋下のバス路線は一般車も通過させること。
- 5 都市政策部は、附属機関の会議は今後もホテル等を利用すること。
- 6 リフォームの補助金については、閉設の届出のルールをつくること。